

- 論点1 瀬戸内海の水環境の状態を陸域からの影響も含め、適切に評価するとともに、これを管理する枠組みをどのようにすればよいか
- 論点2 湾・灘内の水域によって異なる状況・特徴を考慮した、順応的な栄養塩類の管理や、局所的な水環境の保全対策をどのように行っていくべきか
- 論点3 里海づくりの考え方を取り入れた生物の生息・資源生産の場の保全・再生・創出や、自然景観・文化的景観をはじめとした地域資源の利活用に係る取組をどのように実施していくべきか
- 論点4 漂流・漂着・海底ごみ対策や環境保全活動の支援、調査・研究等、瀬戸内海全体又はそれより広い視野で取り組むべき課題について、どのように対応していくべきか

「瀬戸内海における今後の環境保全の方策の在り方」に係る論点整理について

論点1 瀬戸内海の水環境の状態を陸域からの影響も含め、適切に評価するとともに、これを管理する枠組みをどのようにすればよいか

(検討のポイント)

- 現在の瀬戸内海の水環境をよりの確に評価するための環境基準の運用
- 瀬戸内海の水環境に即した今後5年間の水質総量削減の最適化や特定施設の設置許可制度の合理化

等

(関係する地域の課題)

- ① 夏季の赤潮・貧酸素水塊の発生と底生生物の種類数・個体数が極端に少ない海域の存在【大阪湾(湾奥)等】
- ② 停滞水域における高濃度の栄養塩の偏在【大阪湾(湾奥)等】
- ③ 一部水域におけるCODの環境基準の未達成【播磨灘、備後灘等】

「瀬戸内海における今後の環境保全の方策の在り方」に係る論点整理について

論点2 湾・灘内の水域によって異なる状況・特徴を考慮した、順応的な栄養塩類の管理や、局所的な水環境の保全対策をどのように行っていくべきか

(検討のポイント)

- 特定の水域について、他水域への悪影響なく、効果的な栄養塩類の管理を行うことができるPDCAサイクルの確立
- 赤潮、貧酸素水塊及び停滞水域に偏在する高濃度の栄養塩類への対策の更なる導入促進
- 湾・灘の水環境管理に係る合意形成の場としての湾・灘協議会の活用促進 等

(関係する地域の課題)

- ① 夏季の赤潮・貧酸素水塊の発生と底生生物の種類数・個体数が極端に少ない海域の存在【大阪湾(湾奥)等】
- ② 停滞水域における高濃度の栄養塩の偏在【大阪湾(湾奥)等】
- ④ 魚類養殖が行われている海域における赤潮の発生【播磨灘南部、豊後水道等】
- ⑤ 栄養塩類の減少と大型珪藻との栄養塩類を巡る競合に伴うノリ等の色落ち【播磨灘、備讃瀬戸等】
栄養塩類の減少が一部のプランクトン食性魚の餌環境等の低次生態系に影響を及ぼしている可能性【播磨灘】
- ⑥ その他の水産資源を巡る課題(アサリの餌環境等に及ぼす影響の要因の解明、カキ養殖における採苗不良及び生育不良の要因の解明等)【広島湾、周防灘南部等】
- ⑦ 藻場・干潟等の保全、再生及び創出の更なる取組が必要
- ⑧ 沿岸域における護岸の環境配慮や一部水域における底質環境の改善・窪地対策が必要
- ⑪ 湾・灘内での関係者間の連携強化・合意形成の深化が必要

「瀬戸内海における今後の環境保全の方策の在り方」に係る論点整理について

論点3 里海づくりの考え方を取り入れた生物の生息・資源生産の場の保全・再生・創出や、自然景観・文化的景観をはじめとした地域資源の利活用に係る取組をどのように実施していくべきか

(検討のポイント)

- 自然海浜保全地区の指定制度の活用等による藻場・干潟等の保全・再生・創出や環境配慮型構造物の導入拡大策
- 自然景観や文化的景観等の地域資源の認知度向上策、瀬戸内海を象徴する生物の情報収集及び地域資源を活用したエコツーリズム等の更なる推進
- 地域資源づくりに係る合意形成の場として湾・灘協議会の活用促進
- 地域循環共生圏の創造による地域資源の持続可能な利活用による地域づくり 等

(関係する地域の課題)

- ⑦ 藻場・干潟等の保全、再生及び創出の更なる取組が必要
- ⑧ 沿岸域における護岸の環境配慮や一部水域における底質環境の改善・窪地対策が必要
- ⑨ 地域における環境保全活動を通じた地域資源の活性化が必要
- ⑩ 湾・灘内での関係者間の連携強化・合意形成の深化が必要

「瀬戸内海における今後の環境保全の方策の在り方」に係る論点整理について

論点4 漂流・漂着・海底ごみ対策や環境保全活動の支援、調査・研究等、瀬戸内海全体又はそれより広い視野で取り組むべき課題について、どのように対応していくべきか

(検討のポイント)

- 海洋プラスチックごみを含む漂流・漂着・海底ごみ対策
- 漂流・漂着・海底ごみ対策及び栄養塩類の管理に係る広域連携のための合意形成の場として湾・灘協議会の活用促進
- 環境保全活動や調査研究等の担い手となる人材の確保・育成、その他の活動支援
- 環境調査の実施や諸対策の効果判定手法
- 栄養塩類の適切な管理に係る更なる調査研究・知見集積
- 気候変動による生物多様性及び生物生産性への影響予測及び適応 等

(関係する地域の課題)

- ⑦ 藻場・干潟等の保全、再生及び創出の更なる取組が必要
- ⑨ 地域における環境保全活動を通じた地域資源の活性化が必要
- ⑩ 漂流・漂着・海底ごみの対策が必要
- ⑪ 湾・灘内での関係者間の連携強化・合意形成の深化が必要
- ⑫ 気候変動への適応をはじめとした調査研究・科学的知見及びモニタリングデータの更なる充実